

小3社会 昔の暮らし（書き取り）
No.1

月

日

名前

得点

/8

問1 日本の歴史において、明治時代から始まって、大正、昭和、平成とつづく、今の時代を何といいますか。

問2 昔、敵から身を守ったり、地域をまとめたりするために作られた、高い場所や守りやすい場所に建てられた建物は何といいますか。

問3 昔の道具には、今の家電製品とくらべてどのような特徴がありますか。

問4 私たちが「古い町並み」を見学して、昔の建物や街の様子を調べる一番の目的は何ですか。

問5 昔の家で、飲み水や洗濯などに使うための水を、地面の下からくみ上げていた施設のことを何といいますか。

問6 昔の人が「かまど」や「七輪」などの道具を使って料理をするとき、どのような工夫が必要でしたか。

問7 建物がすでになくなってしまった場所でも、かつて「城」があった場所として大切に守られている場所のことを何といいますか。

問8 昔から使われてきた建物や、昔の町の様子がそのまま残っている場所のことを何といいますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 令和時代	歴史の出来事は、年号によって順番が決まっています。明治、大正、昭和、平成の次に、現在は令和という時代になっています。それぞれの時代がどの順番で並んでいるかを知ることが、歴史の流れを正しく理解するためにとっても大切です。
問2	答え 城	城は、昔の地域の中心的な施設として、防御や統治のために建てられました。博物館は歴史的な資料などを展示・保存する場所であり、城の役割とは異なります。
問3	答え 自然素材を使い、手作業で使う道具が多い	昔の道具は、木や土、石などの自然素材が多く使われていました。現代の家電製品のように電気やスイッチ一つで動くものではなく、人が手作業で動かしたり、火の加減を調整したりして使う必要がありました。
問4	答え 街の歴史や人々の暮らしの移り変わりを 知るため	古い町並みを調べることは、単に古い家を見るだけでなく、昔の人々がどのような工夫をして暮らしていたのか、街がどのように発展してきたのかという歴史を学ぶためにとっても役立ちます。
問5	答え 井戸	地下水をくみ上げて生活に利用するための施設を井戸と呼びます。昔は水道が通っていなかったため、家の人が井戸から直接水をくみ上げることが、毎日の生活に欠かせない仕事でした。
問6	答え 電気を使わないので、薪や炭を燃やす火の扱 いの工夫	昔は電気やガスがなかったため、薪（まき）や炭を燃料として火をおこす必要がありました。そのため、火を安定させるには、空気の通り道を考えたり、火の強さをこまめに調整したりするという、使い手ならではのこつや工夫が必要だったのです。
問7	答え 城跡	城がその場所に建っていたという歴史的な事実は重要であり、建物が残っていなくても「城跡」として保存されることで、地域の歴史を今に伝えています。
問8	答え 古い町並み	古い町並みとは、昔の建築物や街の構成が今も大切に守られている場所のことを指します。こうした場所は、その地域で昔どのような人々の暮らしが営まれていたかを知るための大切な手がかりとなります。